

令和 4 年度

動物実験に関する自己点検・評価報告書

大阪国際がんセンター動物実験委員会

令和 6 年 3 月

動物実験に関する自己点検・評価報告書

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程 (機関内規程が策定され、細則が定められているか?)
1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 ☐ 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・大阪国際がんセンター動物実験規程（平成29年3月25日制定 令和5年1月4日改訂）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） すでに適合する機関内規程が定められている。
4) 改善の方針 該当せず

2. 動物実験委員会 (動物実験委員会が設置されているか? また、委員構成は適当か?)
☒ 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 ☐ 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・大阪国際がんセンター動物実験規程（平成29年3月25日制定 令和5年1月4日改訂） ・動物実験委員会名簿
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 動物実験委員会が開かれ、議事が適正に議論されている。
4) 改善の方針 該当せず

3. 動物実験の実施体制 (動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められているか?)
1) 評価結果 ☒ 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 ☐ 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・大阪国際がんセンター動物実験規程（平成29年3月25日制定令和5年1月4日改訂） ・動物実験計画書 ・動物実験結果報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 機関内規程が適正に定められていて、動物実験結果報告書を提出する体制が整っている。
4) 改善の方針 該当せず

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制 (遺伝子組換え動物実験、感染動物実験等の実施体制が定められているか?)
1) 評価結果 ☒ 該当する動物実験の実施体制が定められている。 ☐ 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 該当する動物実験の実施体制が定められていない。 ☐ 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ・大阪国際がんセンター動物実験規程（平成29年3月25日制定令和5年1月4日改訂） ・大阪国際がんセンター遺伝子組換え生物等の第二種使用等に係わる組換えDNA実験安全管理規則（平成5年8月27日制定 令和2年4月17日改訂）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 動物実験規程、組換えDNA実験規程が適正に定められている。
4) 改善の方針 該当せず

5. 実験動物の飼養保管の体制 (機関内における実験動物の飼養保管施設が把握され、各施設に実験動物管理者が置かれているか?)
1) 評価結果 ■ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・大阪国際がんセンター動物実験規程（平成29年3月25日制定令和5年1月4日改訂）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 機関内規程等に適正に定められており、適正に実施されている。
4) 改善の方 該当せず

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）
該当せず

Ⅱ. 実施状況

1. 動物実験委員会 (動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか?)
1) 評価結果 ■ 基本指針に適合し、適正に機能している。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 令和4年度大阪国際がんセンター動物実験委員会議事録 (令和5年2月21日開催)
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 大阪国際がんセンター動物実験規程に基づき、適正な活動を実施している。
4) 改善の方針 該当せず。

2. 動物実験の実施状況 (動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか?)
1) 評価結果 ■ 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 令和4年度大阪国際がんセンター動物実験委員会議事録 (令和5年2月21日開催) ・ 令和4年度動物実験計画書 ・ 令和4年度動物実験計画承認報告書 ・ 令和4年度動物実験結果報告書
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 動物実験結果報告書を整備し、各研究課題に対して、結果報告書を提出してもらっている。
4) 改善の方針 該当せず。

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況 (当該実験が安全に実施されているか?)
1) 評価結果 ☒ 該当する動物実験が適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。 ☐ 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料(安全管理上の事故等があれば、事故記録を対象とする) ・ 動物実験計画書 ・ 動物実験計画承認報告書 ・ 管理業務作業日報および業務日誌 ・ 実験動物使用状況報告書
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。) 安全管理を要する動物実験が適正に実施されている。
4) 改善の方針 該当せず。

4. 実験動物の飼養保管状況 (実験動物管理者の活動は適切か? 飼養保管は飼養保管手順書等により適正に実施されているか?)
1) 評価結果 ☒ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 管理業務作業日誌および業務日誌 ・ 実験動物使用状況報告書 ・ 令和4年度動物実験結果報告書
3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。) 飼養保管が適正に実施されている。
4) 改善の方針 該当せず。

5. 施設等の維持管理の状況 (機関内の飼養保管施設は適正な維持管理が実施されているか？修理等の必要な施設や設備に、改善計画は立てられているか？)
1) 評価結果 ■ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・管理業務作業日誌
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 施設の維持管理は適正に行われている。
4) 改善の方針 該当せず。

6. 教育訓練の実施状況 (実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練を実施しているか？)
1) 評価結果 ■ 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・動物実験の教育訓練（講習会）の実施状況 令和5年1月17日実施 講習会に出席できなかった動物実験実施者、飼養者に対しては、DVD講習および個別講習を行った。（講習会参加人数 44人、DVD講習8人） ・動物実験の教育訓練実施資料
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練が適正に実施されている。
4) 改善の方針 該当せず。

7. 自己点検・評価、情報公開 (基本指針への適合性に関する自己点検・評価、関連事項の情報公開を実施しているか?)
1) 評価結果 ■ 基本指針に適合し、適正に実施されている。 ☐ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 ☐ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・大阪国際がんセンター年報 令和4年度（動物管理業務）（令和6年3月発行）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 大阪国際がんセンター年報において動物実験実施状況を報告し、令和4年度自己点検・評価結果を本報告書に取りまとめた。
4) 改善の方針 該当せず。
8. その他 (動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)
特になし